

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

×

4月7日発行
Vol.541

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

4/6

水

南相馬市HP

「みなみそうまトピックス」から

入学式

4月6日、市内の小中学校で新学期が始まり、各校で入学式が執り行われました。



2ページをご覧ください。

目次

●「みなみそうまトピックス」から

・入学式	2
------	---

●被災自治体News

南相馬市	3
浪江町	5
双葉町	7

新潟県新型コロナ
受診・相談センター

番号間違い
に注意!!

☎ 025-385-7634
☎ 025-385-7541
☎ 025-256-8275
毎日24時間対応（土日・祝日含む）

4/6 水

入学式

4月6日、市内の小中学校で新学期が始まり、各校で入学式が執り行われました。
今年の新入生は小学生が2,044人、中学生1,116人でした。
写真は上真野小学校と原町第三小学校の入学式の様子です。ご入学おめでとうございます。



【上真野小学校】



【原町第三小学校】





南相馬市からのお知らせ

令和4年度南相馬市会計年度任用職員募集

4月7日HP更新

南相馬市では会計年度任用職員を募集しています。会計年度任用職員とは、1年度内（翌年3月31日まで）で勤務する職員です。

募集職種

事務補助ほか

注意 詳しくはハローワーク窓口での問い合わせまたはハローワークインターネットサービスをご覧ください。

注意 応募にあたり、年齢制限はありませんが、地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当する人は応募することができません。

募集案内・申込書などのダウンロード

▶ 会計年度任用職員募集要項（随時）

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/2/r4_kaikeinendo_youkou_zuiji.pdf



▶ 会計年度任用職員応募申込書

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/2/r4_kaikeinendo_moushikomi_zuiji.pdf



受付期間

随時

応募方法

総務課（市役所本庁舎3階）へ持参または郵送

●持参の場合 総務課（市役所本庁舎3階）平日午前9時～午後5時

●郵送の場合 送付先 〒975-8686 南相馬市原町区本町2丁目27番地
「南相馬市役所 総務課 人事給与係」

注意 なお、提出書類は返却しません。

次ページへ続きます 

提出書類

- 会計年度任用職員応募申込書
- 資格・免許の写し（資格要件に必要な資格が記載されています。）

選考方法

書類審査、面接を実施します。面接日は後日連絡します。

任用期間

随時～令和5年3月31日までの期間内（一会計年度を超えない範囲）

注意 勤務成績などの評価により、公募によらない再度の任用を連続2回（3年間）を限度として行う場合があります。その後も勤務を希望する場合は、再度、公募による選考となります。

給与等

- 毎月、給料のほか通勤方法などに応じ通勤手当が支給されます。（支給日 毎月21日）
- 勤務期間に応じ、期末手当が支給されます。（6月15日、12月5日）

休暇等

- 年次有給休暇、特別休暇（夏季休暇等）などがあります。
- 定期健康診断、ストレスチェックの適用があります。

問い合わせ

総務部 総務課 人事給与係

TEL 0244-24-5222



浪江町からのお知らせ

【町長インタビュー】 令和4年度の取り組みについて

4月1日HP更新

新年度開始にあたり、これから浪江町がどのように進化していくのか、吉田町長にお話しをお聞きました。

**今年度は特定復興再生拠点の準備宿泊が始まります。
帰還困難区域の解除に向けて、どのように取り組んでいきますか？**

末森、室原、津島の特定復興再生拠点は、令和5年春の解除に向けて順調に整備が進んでいます。

避難指示の解除は、町民の方々が安全安心に生活できることが大前提です。特に津島地区は、街中から離れていますので住民の方々を支援するため、活性化センターに役場支所を置き職員を配置します。

また、拠点内には公営住宅や消防屯所を整備し、少しでも買い物ができるよう移動販売車を計画しています。そして、デマンドタクシーを運行することで病院や学校への通院、通学もサポートしていきたいと考えています。

また、拠点区域外についても昨年ようやく国からの方針が示されました。しかし、これまでとは除染方法が違いますので、皆さん様々な疑問や不安をお持ちだろうと思います。ですから、これからについて地域でよく話し合っ決めていけるように、国からの説明会を大字単位で行うよう求めています。

今すぐに結論が出せなくても、皆さんの帰りたい気持ちに丁寧に応えていただけるよう、今後も継続的に国に働きかけてまいります。

町内では、多くの復興事業が行われています。6月頃には浪江駅の西側に図書館や介護施設などの「ふれあいセンターなみえ」が完成しますが、これから大事なことは何でしょうか？

避難指示解除の後、復興事業として町単独の予算ではとても不可能な大きな事業に取り組んでいます。

こうした事業は、復興期の今しかできないことです。こうして実現した水素の利活用、駅周辺の再開発などを“町の魅力”として発信して、「浪江町は面白い」と皆さんに思っただくことで「帰りたい」「住んでみたい」「行ってみたい」につなげたいと考えています。

特に注目されている、隈研吾さんとの協力で進めている駅周辺の整備事業も、今年度からいよいよ着手いたします。中心市街地再生に向けた一大事業であり、間もなく空間デザイン基本計画がまとまる段階になりました。今から完成が楽しみです。

これまで様々な施設の完成をみてまいりましたが、町の将来に向けて本当に大事なのはこれからです。こうした施設によって、町民の皆さんが便利で豊かな生活を享受できるよう、しっかりと運営してまいります。

次ページへ続きます

最後に、“町づくりへの想い”を聞かせてください。

今、町の景色はどんどん変わっています。そのことで「故郷が無くなるのではないか」と不安になる方もいるかもしれません。しかし何も手を加えなければ、町は荒れ果て、寂れ、本当に故郷がなくなってしまうです。

昔から町は常に変化してきました。伝統・歴史を生かしつつ変化させることは、今を生きる者として、先人から受け継いだふるさとを守ることだと思ふのです。

これからも、皆さんがいつでも帰れるよう「ふるさと浪江」を守り、そして子供たちの未来に引き継いでいくために全力で取り組んでまいります。

問い合わせ

総務課 秘書係

TEL 0240-34-0239

浪江町民の避難状況（3月31日現在）**【都道府県別】（福島県外）**

都道府県	人 数	都道府県	人 数	都道府県	人 数
北海道	54	長野県	54	愛媛県	10
青森県	42	岐阜県	19	高知県	4
岩手県	36	静岡県	52	福岡県	21
宮城県	924	愛知県	37	佐賀県	4
秋田県	40	三重県	7	長崎県	11
山形県	114	滋賀県	5	熊本県	6
茨城県	969	京都府	33	大分県	5
栃木県	450	大阪府	63	宮崎県	10
群馬県	135	兵庫県	25	鹿児島県	8
埼玉県	645	奈良県	6	沖縄県	19
千葉県	555	和歌山県	-	国外	13
東京都	795	鳥取県	-	合計	6,000
神奈川県	415	島根県	5	(前月 5,992)	
新潟県	284	岡山県	23		
富山県	15	広島県	9		
石川県	25	山口県	1		
福井県	8	徳島県	1		
山梨県	37	香川県	6		

【福島県内市町村別】

市町村	人 数	市町村	人 数	市町村	人 数
福島市	2,296	天栄村	1	三春町	74
会津若松市	188	下郷町	3	小野町	11
郡山市	1,659	南会津町	9	広野町	50
いわき市	3,082	北塩原村	3	檜葉町	19
白河市	254	西会津町	4	富岡町	25
須賀川市	139	磐梯町	4	川内村	4
喜多方市	19	猪苗代町	20	大熊町	7
相馬市	415	会津坂下町	20	双葉町	-
二本松市	945	金山町	1	浪江町	1,285
田村市	73	会津美里町	9	葛尾村	5
南相馬市	1,918	西郷村	118	新地町	80
伊達市	106	泉崎村	6	飯舘村	2
本宮市	457	中島村	2	県内	1
桑折町	132	矢吹町	36	合計	13,758
国見町	25	棚倉町	7	(前月 13,796)	
川俣町	50	塙町	3	避難者総数	
大玉村	178	石川町	5	19,758	
鏡石町	7	古殿町	1	(前月 19,788)	



双葉町からのお知らせ

令和4年度町税の免除、減免等について

4月1日HP更新

双葉町では、東日本大震災および原子力災害を受けた納税義務者などの納付すべき令和4年度の各税目について、次の通り免除・減免をします。

対象税目

個人町県民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

個人町県民税(個人住民税)

令和3年中の所得により、下表のとおり減免となります。

※ 所得による減免基準は令和3年度と変更ありません。

令和3年中の合計所得金額	目安の給与収入※1	減免の割合
500万円以下	677万円	10分の10
500万円を超え750万円以下	677万円～954万円	10分の5
750万円を超え1,000万円以下	945万円～1,195万円	4分の1
1,000万円超	1,195万円～	10分の1

なお、合計所得金額は総合課税分および分離課税分の合計、特に 分離譲渡所得については特別控除前の額が合算されます。

※ 家屋被害認定調査の判定結果による、平成23～30年度分に遡っての納付済町県民税の税額(減免割合)変更(還付)はこれまでどおり行います。

※1 この表における目安の給与収入とは、給与所得以外の所得がない場合の金額です。

法人町民税

東日本大震災および原子力災害により休業などとなった法人について、休業届の提出があった法人（令和4年1月から12月までに決算期を迎える法人に限る。）

…均等割相当額の全額減免

固定資産税

- 土地、家屋に係るもの（町長が指定する区域以外にあるもの）…全額減免
- 償却資産に係るもの（原子力災害により事業の用に供することができないもの）
…申請により減免

次ページへ続きます

軽自動車税

令和4年4月1日現在で、帰還困難区域に放置された、
原動機付自転車、小型特殊自動車…当初から全額減免
軽四輪車、二輪の小型自動車…申請により全額減免

国民健康保険税

被保険者全世帯…全額減免

問い合わせ

戸籍税務課

TEL 0246-84-5204

双葉駅西側地区 駅西住宅 事前登録のお知らせ

4月1日HP更新

駅西住宅へ入居を希望する方は、事前登録が必要です。

▶ 事前登録のおしらせ（概要版）

https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/13002/A3_220128.pdf



双葉町では、令和4年春頃の実施を目標としているJR双葉駅を中心とする特定復興再生拠点区域（約555ha）の避難指示解除および町内居住開始を踏まえ、JR双葉駅の西側地区において、「なりわい暮らし」をキーコンセプトとした、公営住宅の整備を進めているところです。

これまで、座談会の実施などにつき町のホームページなどでお知らせしてきましたが、今後検討や整備の進捗状況についてより効率的に情報発信し、より多くの方の関心を引き起こすことを目的に、本プロジェクトの情報発信に特化した専用のホームページを開設しておりますのでこちらも合わせてご覧ください。

▶ 双葉駅西側地区公営住宅プロジェクト

<http://restart-futaba.com/>



今後、町のホームページなどでの発信とともに、この専用ホームページにおいても情報発信を強化していきます。

問い合わせ

復興推進課

TEL 0246-84-5203

双葉町HP「町長の活動状況」から

東京電力へ要望書

3月25日

3月25日、東京電力福島第一原子力発電所事故で避難した住民が起こした損害賠償請求訴訟のうち6件で、国の方針を上回る賠償を命じた判決が確定したことを受け、双葉町と双葉町議会は、東京電力に対し、全町民に判決と同等の金額を上乗せした賠償をするように求め、高原一嘉東京電力福島復興本社代表に要求書を手渡しました。

引き続き、議会全員協議会が開催され、意見交換を行いました。



双葉町立南・北小学校卒業証書授与式

3月23日

3月23日、町立学校体育館において双葉南・北小学校の卒業証書授与式が挙行されました。伊澤町長は、5人（南小1人、北小4人）の卒業生に対し「自分の行動に責任を持ち、周りの人の気持ちを考えることのできる立派な人に成長してください。今日のこの感激を忘れることなく、中学校生活が希望と喜びで満ちあふれ、活躍されることをお祈りいたします」とお祝いの言葉を述べるとともに、記念品を贈りました。



ふたば幼稚園修了証書授与式

3月22日

3月22日、ふたば幼稚園さくら組において修了証書授与式が挙行されました。2人の園児に修了証書が手渡され、伊澤町長は「4月からは小学1年生です。小学校では新しい先生や友達との出会いがあります。

今まで以上に友達やお兄さん、お姉さんと仲良く過ごしてください。新しく入園するお友達にも優しくしてください」とお祝いの言葉を述べました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

地震による災害対策本部を開催

3月16日

3月16日、午後11時36分に福島県沖で発生したマグニチュード7.4、最大震度6強（双葉町内：震度6弱）の地震により双葉町内における被害状況の把握や対応を確認するため、3回にわたり災害対策本部会議を開催しました。

伊澤町長は担当課からの被害状況について確認するとともに、今後の対応等について指示を行いました。



TBS報道特集取材

3月12日

3月12日に放送されたTBS「報道特集」の取材が2月10日に双葉町内で行われました。伊澤町長は日下部正樹キャスターの質問に応える形で駅西地区の住宅団地、駅東地区の役場仮設庁舎の整備状況について説明するとともに、産業交流センターにおいて、これまでの11年の歩みや避難指示解除に向けての取り組みについてインタビューに応えました。



双葉町追悼式を挙行

3月11日

震災から11年となる3月11日、双葉町産業交流センターにおいて東日本大震災双葉町追悼式を挙行しました。

震災発生時の午後2時46分に出席者全員で黙祷を捧げました。

伊澤町長は「11年の月日を経てもなお、大切な家族を失った悲しみはあまりにも深く、心の傷は癒えておらず、その悲しみに寄り添いながら、今年6月以降の双葉町への帰還を実現することをここにお誓い申し上げます」と式辞を述べました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

東日本大震災追悼関連行事

3月11日

3月11日を中心に東日本大震災の追悼行事が、産業交流センターや東日本大震災・原子力災害伝承館などで開催されました。

伊澤町長は、産業交流センターで挙行された双葉町追悼式に出席した後、(株)ランドポートが産業交流センターの外階段にランタン270個を並べて作る光の階段や、感謝と教訓をテーマに花絵制作者の藤川靖彦さんはじめ町の復興支援員が約2,300本のカーネーションの花びらやガーベラ、7色の砂を使用して制作した花絵や声優による朗読、双葉町出身の大川義秋さんによる箏の演奏、ラブフォーニッポン(キャンドル・ジュン代表)によるキャンドルナイトなどの各ブースを回りながら御礼と感謝のことばを述べました。



双葉中学校卒業証書授与式

3月11日

3月11日、町立学校仮設校舎体育館において第72回双葉中学校卒業証書授与式が行われ、今年度は1人の卒業生に卒業証書が授与されました。

伊澤町長は、卒業生に「これからは自分で選択した進路を歩むことになります。これまでの双葉町立学校で身に付けたことに自信と誇りを持って、前進してください。今後、さらに多くの経験を重ね、自ら考え、判断し、さまざまな課題を解決できるように努力を続けてください」と祝辞を述べ、記念品を贈りました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

公明党福島復興加速化本部会議との意見交換

3月6日

3月6日、大熊町のLinkる大熊において、公明党の山口那津男代表が来訪し、福島復興加速化本部会議が開催され、大熊町、双葉町との意見交換が行われました。

伊澤町長は、1. 特定復興再生拠点区域外における取り組みの具現化について、2. 復興のスタートに立つ町へ重点的サポート、3. 町民の実態に即した賠償の実施、4. 福島第一原子力発電所の廃炉を担う東京電力への監督・指導、5. ALPS処理水をめぐる責任を持った対応について要望内容を説明し、要望書を手交しました。



避難先住所等の届け出について

東日本大震災に伴い避難されている方で、次のような場合は、全国避難者情報システム（避難者名簿）に登録されている内容を変更する必要がありますので、ご連絡ください。

- ・転居したので住所が変わった（変わる予定である）
- ・家族構成が変わった（子が進学などで転出、帰還した家族がいるなど）
- ・避難生活が終了した（避難の意思を有しなくなった）

連絡先

三条市 福祉課 福祉・公営住宅係

TEL 0256-34-5405

三条市に避難している
世帯数と人数(2022.4.7現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	15	37
原町区	3	3
南相馬市 計	18	40
浪江町	3	10
双葉町	1	3
郡山市	5	9
合 計	27	62

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511